

研究課題番号	SⅡ-3-2
研究課題名	PCB・POPsに関する時系列評価と環境管理方策に資する分析化学的研究
研究実施期間	平成30年度～令和2年度
研究機関名	愛媛大学
研究代表者名	高橋 真

1. 委員の指摘及び提言概要

POPsの環境中濃度や生体中蓄積状況が最も重要なデータと思う。それをかなり体系的に広範囲に時系列的にやり遂げている点は高く評価できる。膨大なデータの処理解析手法による信頼度の高い方式が確立されている。今後の継続的な傾向分析に期待したい。底泥だけでなく長期生物保管試料を活用した貴重な基礎的なモニタリングデータを提供している。また、既存のChemTHEATERによる情報を公表して、サイエンスコミュニケーションイベントを開催している点も評価できる。PCB/POPs管理方策に関し、環境政策への具体的な貢献が確認できる。国民との対話の努力も評価できる。プラスチックと違い、なかなか関心が持たれにくいPOPsについて、オンラインプラットフォームを活用された取組は注目すべきであり、今後も積極的に進めてほしい。

2. 採点結果

評価ランク：S